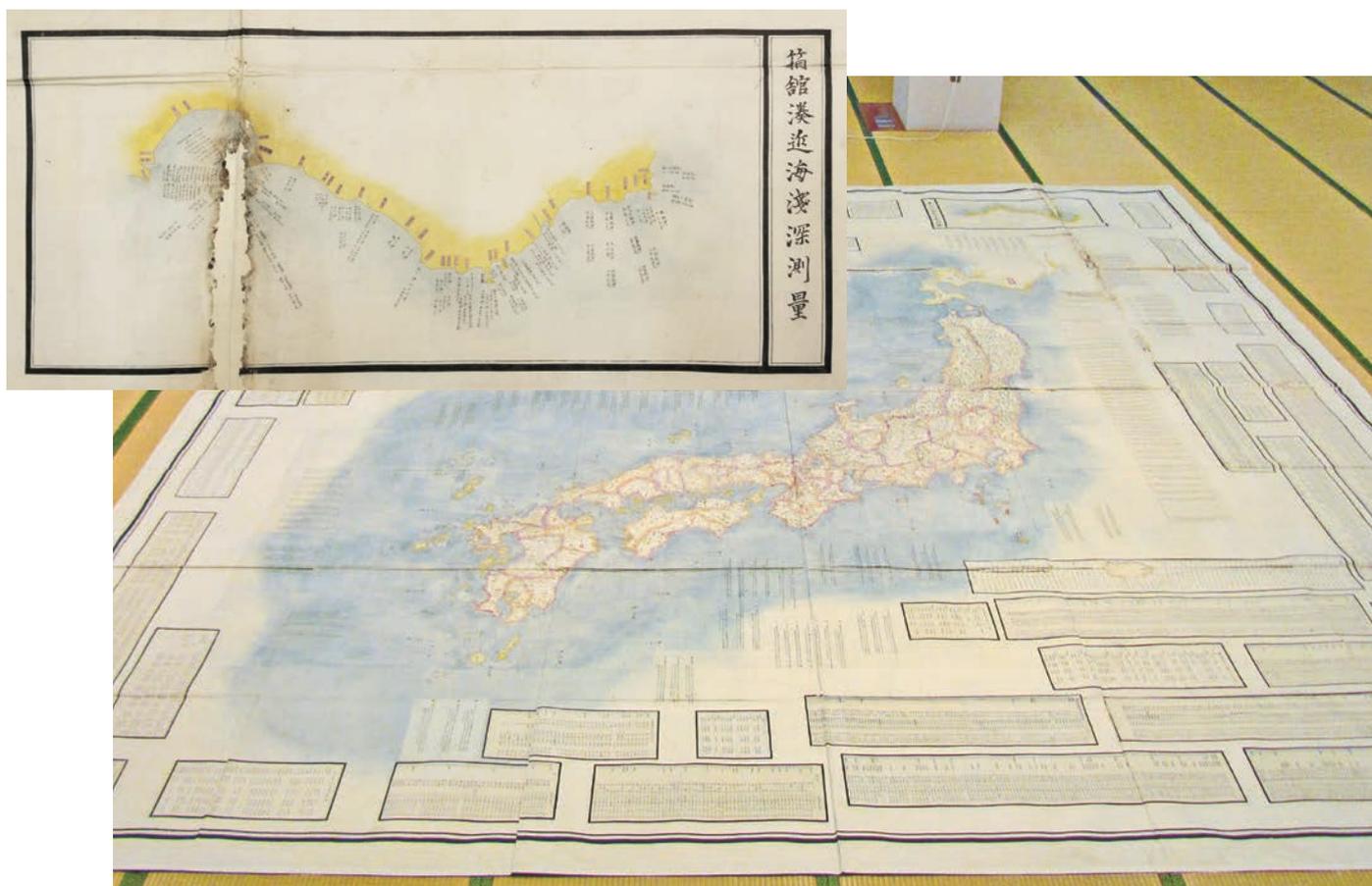


東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター 通信

第89号 2020年4月

目	次
巻頭図版	『江戸大地震之図』を読む』の刊行
太鼓谷稲成神社所蔵『日本国地理測量之図』	(杉森玲子) ……20
2019年度センター活動報告	古写真研究プロジェクトの谷昭佳さんが日本写真協会学芸賞を受賞!
(前川祐一郎) ……2	(保谷 徹) ……20
江戸幕府天文方堀田仁助関係絵図調査記録	文献案内 ……21
(菊地智博・杉本史子・佐藤賢一・瀬戸祐介) ……6	画像史料関係文献目録 ……23
史的文字データベース連携検索システムの公開	活動抄録 ……24
(井上 聡) ……17	



島根県津和野町・太鼓谷稲成神社所蔵『日本国地理測量之図』全体および分図「箱館湊近海浅深測量」拡大

(拡大図は瀬戸祐介による合成画像)

幕府天文方に属し、伊能忠敬に先立つ寛政十一年に蝦夷地測量を行ったことで知られる津和野藩士・堀田仁助が文政年間に作成し、津和野藩主へ献上した伊能図の写である。他の写本と比較した特徴として、堀田の関心を反映したものか、周囲の囲み記事に蝦夷地関係の情報が増補されていることが挙げられる。とりわけ、北東部分に加えられた分図「箱館湊近海浅深測量」は類本には見られない本図の大きな特徴である。その他、彩色された凡例などが特筆される。東日本のみを描いた『東三十三国沿海測量之図』とともに保管されている。(菊地智博, 6頁参照)